

共に手を取り！

令和8年7月7日 No.7 文責：校長 内藤大輔

スマホ・SNS と正しく向き合う夏に ～学校と家庭が両輪となって～

先月、「教育を語る会」を開催し、ネットトラブル防止について親子で学びました。学校でも道徳や特別活動等を通じて情報リテラシーを指導していますが、SNSのトラブルや、動画サイト・ネットゲームへの熱中による生活リズムの乱れは後を絶ちません。こども家庭庁の調査（R8.2）では、高学年のスマホ所有率は約7割、ネット利用時間は1日平均約4時間に達しています。ネットへの強い誘惑は、自制心が未熟な小学生が自力で断ち切れるものではありません。親が良かれと思って与えたスマホが、いつの間にか子どもの生活を支配してしまうという背景には、この強い依存性があります。



間もなく、自由な時間が増える夏休みを迎えます。この課題には、学校と家庭が「車の両輪」となり、一歩踏み込んだ対応をしていく必要があります。まず、スマホは子どもの私物ではなく、「親がルール付きで貸している物」という原則を親子で再確認してください。

その上で、ご家庭では以下の3点をお願いいたします。

- ①「動画の視聴（ゲームも含めて）は1日〇時間」など利用時間の制限の徹底
- ②「SNSのメッセージへの返信・受信等は定期的に親が確認」といった利用状況の確認
- ③ネットによる受動的な娯楽から離れ、宿題やお手伝い、運動など「地道にコツコツ取り組み、時間をかけて達成感を得る（忍耐力を育てる）」夏休みならではの経験づくり

ネットへの依存を抑えるブレーキ（自制心）は、リアルな世界での粘り強さから育ちます。有意義な夏休みに向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校 HP の QR



教室を飛び出し、体験を通して学ぶ！

運動会という大きな行事を大成功で終え、子どもたちはまた一歩大きく成長しました。現在、各学年では地域や自然、社会の仕組みと深くつながる様々な校外学習や体験活動を活発に展開しています。1年生は楡形総合公園で初めての生活科見学、2年生は曲輪田地区の探検やオオムラサキセンターでの自然観察、3年生は交通センターでの自転車教室や若草・甲西地区の歴史探訪、4年生は浄水場や浄化センター、清掃センターの見学を通して、社会の仕組みを肌で学びました。また、6年生はプロの芸術家による音楽ワークショップで本物の迫力を味わい、5年生はいよいよ来週、大自然のなかでの林間学校へと出発します。子どもたちは五感を使って生き生きと学び、社会や自然への視野を広げています。

1 年 櫛形総合公園



1・2 年 学校探検



2 年 地区探検 曲輪田



2 年 オオムラサキセンター



3 年 自転車教室



3 年 安藤家住宅



4 年 清掃センター



4 年 駒場浄水場



4 年 釜無川浄化センター



5 年 水泳教室



6 年 調理実習



6 年 芸術ワークショップ

